

◆間接法 (単位省略)

【例題】

以下の資料に基づき、【解答欄】にある()に語句と数値を記入しなさい。
 なお、必要な場合は、▲の符号も付すこと。

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	2,000	2,500	仕入債務	1,500	1,200
棚卸資産	500	450	貸倒引当金	40	50

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	12,000	売上高	15,000
棚卸減耗費	40	償却債権取立益	10
貸倒引当金繰入	20		
貸倒損失	10		
当期純利益	2,940		
	15,010		15,010

【解答欄】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

() 当期純利益 ()
 貸倒引当金の() ()
 売上債権の() ()
 棚卸資産の() ()
 仕入債務の() ()
 小計 ()

【解答】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(税引前) 当期純利益	(2,940)
貸倒引当金の(増加額)	(10)
売上債権の(増加額)	(▲500)
棚卸資産の(減少額)	(50)
仕入債務の(減少額)	(▲300)
小計	(2,200)

【間接法解法】

貸借対照表

借 方	前 期 末	当 期 末	貸 方	前 期 末	当 期 末
売 上 債 権	2,000	2,500	仕 入 債 務	1,500	1,200
棚 卸 資 産	500	450	貸 倒 引 当 金	40	50
	(+)	(-)		(-)	(+)

※ 貸借対照表項目の(+)(-)はキャッシュ・フロー計算書小計への影響を表している。

∴ 金額の計算方法：B/S外側(+)^{の金額}－B/S内側(-)^{の金額}（資産・負債共通）

※ 増減の表示方法：前期末<当期末の場合は増加額。前期末>当期末の場合は減少額。

損益計算書

借 方	金 額	貸 方	金 額
売 上 原 価	12,000	売 上 高	15,000
棚 卸 減 耗 費	40	償 却 債 権 取 立 益	10
貸倒引当金繰入	20		
貸 倒 損 失	10		
当 期 純 利 益	2,940		
	15,010		15,010

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益	2,940
貸倒引当金の増加額	10 (= 50－40)
売上債権の増加額	▲500 (= 2,000－2,500)
棚卸資産の減少額	50 (= 500－450)
仕入債務の減少額	▲300 (= 1,200－1,500)
小計	2,200

◆直接法 (単位省略)

【例題】

以下の資料に基づき、【解答欄】にある()に語句と数値を記入しなさい。
 なお、必要な場合は、▲の符号も付すこと。

貸借対照表

借 方	前 期 末	当 期 末	貸 方	前 期 末	当 期 末
売 上 債 権	2,000	2,500	仕 入 債 務	1,500	1,200
棚 卸 資 産	500	450	貸 倒 引 当 金	40	50

損益計算書

借 方	金 額	貸 方	金 額
売 上 原 価	12,000	売 上 高	15,000
棚 卸 減 耗 費	40	償 却 債 権 取 立 益	10
貸 倒 引 当 金 繰 入	20		
貸 倒 損 失	10		
当 期 純 利 益	2,940		
	15,010		15,010

【解答欄】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

() ()

仕入支出 ()

小計 ()

【解答】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(営業収入) (14,490)

仕入支出 (▲12,290)

小計 (2,200)

※ 仕入支出の正式な表示科目は、『(原材料又は)商品の仕入れによる支出』である。

【直接法解法】

貸借対照表

借 方	前 期 末	当 期 末	貸 方	前 期 末	当 期 末
売 上 債 権	2,000	2,500	仕 入 債 務	1,500	1,200
棚 卸 資 産	500	450	貸 倒 引 当 金	40	50
	(+)	(-)		(-)	(+)

損益計算書

借 方	金 額	貸 方	金 額
売 上 原 価	12,000	売 上 高	15,000
棚 卸 減 耗 費	40	償却債権取立益	10
貸倒引当金繰入	20		
貸 倒 損 失	10		
当 期 純 利 益	2,940		
	(-)		(+)

※ 勘定の作成・集計に代えて営業損益項目の(+)(-)に貸借対照表項目の(+)(-)を加減すれば、簡単に営業収入・仕入支出を得ることが出来る。

※ 営業収入・仕入支出は集計項目が多いので、対象を予めマーカーで色分けしておく。

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入 14,490 (= 2,000 - 2,500 + 50 - 40 + 15,000 + 10 - 20 - 10)

仕入支出 ▲12,290 (= 1,200 - 1,500 + 500 - 450 - 12,000 - 40)

小計 2,200

※ 仕入支出は属性が▲なので、集計に際し±に注意を払う必要がある。よって、正確な計算を期す為に、B/S項目を±した後でP/L項目を▲する手順に準じている。

※ 直接法：営業収益・営業費用(原因) ± B/S項目 → 営業収入 - 仕入支出 = 小計

間接法：税引前当期純利益(結果) ± B/S項目 = 小計

◆参考：勘定記入と営業収入・仕入支出

【資料】

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	2,000	2,500	仕入債務	1,500	1,200
棚卸資産	500	450	貸倒引当金	40	50

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	12,000	売上高	15,000
棚卸減耗費	40	償却債権取立益	10
貸倒引当金繰入	20		
貸倒損失	10		

【勘定記入と営業収入・仕入支出】

売上債権

前期末	2,000	当期末	2,500
売上高	15,000	貸倒引当金	10
		貸倒損失	10
		現金預金	14,480

貸倒引当金

当期末	50	前期末	40
売上債権	10	貸倒引当金繰入	20

営業収入 14,490 (= 償却債権取立益 10 + 現金預金 14,480)

棚卸資産

前期末	500	当期末	450
仕入債務	11,990	売上原価	12,000
		棚卸減耗費	40

仕入債務

当期末	1,200	前期末	1,500
現金預金	12,290	棚卸資産	11,990

仕入支出 ▲12,290 (= 現金預金 12,290)